

哲學研究

第九卷第八冊

第一百號

大正三十三年八月一日發行

教育目的としての價值體系……文學士 伊藤 猷典

武士道の起原及び特質……文學士 高橋 俊乘

カントの目的論(完)……文學博士 田邊 元

具體的人性の研究……文學博士 野上 俊夫

京都市帝國大學文學部

京都哲學會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得ルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ケ
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士
伊藤	植田	狩野	小西	高坂	澤村	高瀬	田邊	千葉	朝永	西田	野上	波多	深田	藤井	松本	務臺	米田	米田	米田
猷典	壽藏	直喜	重直	正顯	專太	武次	邊胤	胤胤	三十郎	幾多	俊夫	精一	康算	治郎	三文	理作	庄太郎	庄太郎	庄太郎

寄贈書籍雜誌

哲學體系及其他

文學博士 桑木 巖 翼著
東京 新 生 堂

五惡段講話

金 澤 香 草 舍 敏著

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、觀想、教育研究、內外教育評論、學校教育、教育時論、藥王樹、三田文學、信濃教育、現代佛教、密宗學報、東亞之光、教育學術會、支那學、東洋思想研究、都市教育、全人、宗教之思想、社會學雜誌、講座。

前 號 目 次

コントの社會連帶思想……………文學博士 米田庄太郎	カントの目的論……………文學博士 田邊 元	視覺に於ける錘線及び水線の成立……………文學士 植田 壽藏 歴史と教育……………文學士 大西友太
------------------------------	--------------------------	---

會 告

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪支〇六六番、内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介 新刊書 寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候
 京都帝國大學
 文學部内 **京都哲學會**

註 文 規 定

● 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
 ● 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
 ● 振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候
 ● 前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ● 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊	一冊	定價	金四拾錢	郵	金壹	稅	金
冊	六冊(前金)	定價	金貳圓四拾錢	郵	金	稅	金
冊	十二冊(前金)	定價	金四圓八拾錢	郵	金	稅	金

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十三年七月廿五日印刷納本
 大正十三年八月一日發 行

第百一號 第九卷 第八册

京都帝國大學文學部内

編輯者 京都哲學會

右代書者 伊藤 猷 典

發行者 大谷 仁 兵 衛

印刷者 村上 勘 兵 衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

振替口座 大阪 三二九五番
 東京 三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南
 出張所 京都市京橋區加賀町十番地
 販賣所 京都市神田區錦町一ノ一

内外出版株式會社

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館

賣 捌 所

(大阪) 盛文館 三文社
 (神戸) 寶文館 川瀬書店
 (京都) 共盛社 大盛社

不許複製
 禁轉載